

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年9月16日 (2010.9.16)

【公開番号】特開2009-35602(P2009-35602A)

【公開日】平成21年2月19日 (2009.2.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-007

【出願番号】特願2007-199630(P2007-199630)

【国際特許分類】

C 0 9 J 133/02 (2006.01)

C 0 9 J 133/00 (2006.01)

C 0 9 J 11/00 (2006.01)

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 J 133/02

C 0 9 J 133/00

C 0 9 J 11/00

C 0 9 J 7/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月29日 (2010.7.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

重量平均分子量が 80 万未満で、ガラス転移温度が - 100 ~ - 30 のカルボキシル基含有（メタ）アクリル系粘着ポリマー（1）、及び

重量平均分子量が 3 万 ~ 10 万で、ガラス転移温度が 20 ~ 90 のアミノ基含有（メタ）アクリル系非粘着ポリマー（2）を含有し、前記カルボキシル基含有（メタ）アクリル系粘着ポリマー（1）100 質量部に対し、前記アミノ基含有（メタ）アクリル系非粘着ポリマー（2）を 1 質量部以上 20 質量部未満含む粘着剤組成物。

【請求項 2】

前記カルボキシル基含有（メタ）アクリル系粘着ポリマー（1）の重量平均分子量が 10 万 ~ 80 万である請求項 1 に記載の粘着剤組成物。

【請求項 3】

前記カルボキシル基含有（メタ）アクリル系粘着ポリマー（1）のガラス転移温度が - 80 ~ - 30 である請求項 1 または 2 に記載の粘着剤組成物。

【請求項 4】

前記ポリマー（1）100 質量部に対し、前記ポリマー（2）を 1 質量部以上 10 質量部未満含む請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の粘着剤組成物。

【請求項 5】

ベースフィルム層と、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の粘着剤組成物からなる粘着剤層とを有し、前記粘着剤層の表面が凹凸を有するマーキングフィルム。